

# 令和4年度事業報告書

## I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って令和4年度も、細胞科学分野における研究助成10件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学3件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘3件を実施した。

令和5年度の各種助成のためにそれぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成61件、育成助成44件（うち1件は審査中に申請を取り下げ）、国際交流助成2件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、令和5年度助成対象者を選出した。また、令和2年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

## II. 事業の内容

### 1. 令和4年度助成金の交付

令和4年度各種助成については、研究助成10件、育成助成4件および国際交流助成3件が令和4年3月4日開催の令和3年度第3回理事会において議決承認された。令和4年4月より研究助成10件（1件300万円、総額3,000万円）、育成助成3件（1件240万円、総額720万円）および国際交流助成3件（50万円2件、30万円1件、総額130万円）のそれぞれに順次、助成金を交付した。なお育成助成については、理事会での決議後に1件辞退の申し出があり、次点者も辞退したため、交付対象者は3件となった。〔資料1〕

### 2. 令和4年度研究助成金贈呈式開催

令和4年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり開催した。

ただし、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、懇親会は中止した。

開催日時：令和4年6月4日（土）午後1時30分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

### 3. 第三回塩野賞受賞者選考および贈呈式開催

#### （1）塩野賞受賞者選考

令和4年6月23日付で理事および評議員に対象となる当該研究者のリストを提供し候補者の推薦を依頼したところ、10名の推薦があった。これらの中から最終候

補者を選出するため、9月13日 東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内1-9-1）において塩野賞選考委員会を開催し、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 理事長 平野 俊夫 博士を第三回塩野賞受賞候補者として選出、令和4年9月27日の第4回理事会（書面決議）で決定した。〔資料2〕

## （2）塩野賞贈呈式および記念講演会開催

令和5年3月18日午後3時より第一ホテル東京（東京都港区新橋1-2-6）において第三回塩野賞贈呈式を開催し、受賞者 国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 理事長 平野 俊夫 博士に対し、塩野賞（賞状、金メダル、副賞1,000万円）を贈呈した。引き続き、平野 俊夫 博士による受賞記念講演会を開催した。また、贈呈式出席者による祝賀会を開催した。

演題：インターロイキン6発見37周年 ～IL-6と炎症・自己免疫・がん～

## 4. 令和5年度助成事業

### （1）各種助成の募集の細目

令和4年4月13日開催の企画委員会での検討を経て、令和4年5月6日の第1回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

#### 研究助成

募集テーマ：①エクソソーム（細胞外小胞）：基礎と臨床

②メカノバイオロジー：分子から個体

応募受付期間：令和4年9月1日から令和4年9月30日まで

専門委員：テーマ① 落谷 孝広（東京医科大学医学総合研究所 教授）

高倉 喜信（京都大学大学院薬学研究科 教授）

[選考委員からの専門分野担当]

辻 省次（国際医療福祉大学大学院・医学部 教授）

テーマ② 安藤 譲二（独協医科大学医学部 生体医工学研究室 特任教授）

家田 真樹（筑波大学医学医療系 教授）

[選考委員からの専門分野担当]

審良 静男（大阪大学免疫学フロンティア研究センター 特任教授）

※所属・役職は就任時

#### 育成助成および国際交流助成

応募受付期間：令和4年9月1日から令和4年10月31日まで 〔資料2〕

なお、令和5年度より助成金額を1件120万円（採択数10件）とし、他機関の助成金との重複も可とした。

## （2）募集

### 研究助成

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設170余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計61件（テーマ①：34件、テーマ②：27件）であった。

### 育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は44件（海外：43件、国内：1件）であった。（うち海外1件は審査中に申請取り下げ）

### 国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は2件（招聘）であった。

## （3）選考

### 研究助成：三段階方式による選考

1. 令和4年10月14日～11月14日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として29件（テーマ①：13件、テーマ②：16件）に絞られた。
2. 令和4年11月28日～令和5年1月6日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 令和5年1月18日：本審査（以下の通り）

### 育成助成および国際交流助成

1. 令和4年11月28日～令和5年1月6日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 令和5年1月18日：本審査（以下の通り）

### 令和5年1月18日：本審査

開催日時：令和5年1月18日（水）午後5時より

場 所：東京ステーションホテル（東京都千代田区丸の内 1-9-1）

選考委員および専門委員により令和5年度各種助成交付対象者（研究助成10件：1件300万円総額3,000万円、育成助成10件：1件120万円総額1,200万円および国際交流助成2件：1件50万円総額100万円）が選出され、理事長に答申された。令和5年3月18日に開催された第5回理事会において、原案通り議決承認された。〔資料3〕

## 5. 助成研究報告集等

令和2年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第33巻（令和4年）、および財団年報第34号（令和3年度）を一冊にまとめて「助成研究報告集・年報第7巻（令和4年）として令和4年10月1日に発刊し、全国の国公私立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

## Ⅲ. 財団運営の概況

### 1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和4年5月6日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 令和3年度事業報告および令和3年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 理事および監事改選に関する件：原案通り承認可決された。

第3号議題 令和5年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。なお、育成助成については、助成金額を1件120万円×10件（総額1200万円）に変更し、他機関の助成金との重複も可とすること、国際交流助成についてはWeb開催での会議、シンポジウムも対象とすることについても同意を得た。

第4号議題 令和4年度定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 評議員選任の件：原案通り承認可決された。

第6号議題 費用の弁償及び報酬に関する規則改定の件：原案通り承認可決された。

### 2. 定時評議員会

開催日時：令和4年6月4日（土）午前11時30分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第1号議題 議長選任の件：互選により花崎浩二氏が評議員会議長に選任された。

第2号議題 議事録署名人選任の件：互選により北村幸彦氏および澤田拓子氏が選任された。

第3号議題 令和3年度事業報告および令和3年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 理事および監事選任の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 評議員選任の件：原案通り承認可決された。

報告事項1 令和5年度各種助成募集について：令和4年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

報告事項2 第三回塩野賞について：令和3年度第3回理事会で承認されたことを報告した。

### 3. 第2回理事会

開催日時：令和4年6月4日（土）午前11時50分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町 19-19）

第1号議題 理事長、常務理事選定の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。なお、12,115,695円の余剰金については、12,500,000円を公益目的事業のための財源として公益目的保有財産の取得に充当して費消することを報告した。

第3号議題 令和5年度助成金準備資金設置の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 塩野賞規程改定の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 塩野賞選考委員の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和4年3月4日以降の業務執行状況報告を行った。

### 4. 第3回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和4年7月15日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 特定資産取り崩しの件：令和3年度に追加取得した特定資産1,250万円を取り崩すことについて、原案通り承認可決された。

第2号議題 令和4年度臨時評議員会開催の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 助成金支払準備資金設置の件：特定費用準備資金として助成金支払準備資金を設置し、第1号議題で取り崩した1,250万円を積み立てることについて、原案通り承認可決された。

#### 5. 臨時評議員会（評議員会の決議の省略による方法）

理事長は、評議員の全員に対して評議員会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和4年7月27日までに評議員の全員から同意する旨の意思表示を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 特定資産取り崩しの件：令和3年度に追加取得した特定資産1,250万円を取り崩すことについて、原案通り承認可決された。

#### 6. 第4回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和4年9月27日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 第三回塩野賞受賞者決定の件：令和4年9月13日に開催した第三回塩野賞選考委員会において選出答申された国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構理事長 平野俊夫 博士に第三回塩野賞を贈呈することについて、原案通り承認可決された。

#### 7. 第5回理事会

開催日時：令和5年3月18日（土）午後2時より

場 所：第一ホテル東京（東京都港区新橋1-2-6）

第1号議題 令和5年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 育成助成対象者の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 令和5年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 令和5年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 資金調達及び設備投資の見込みについて：原案通り承認可決された。

第6号議題 令和5年度助成金準備資金取崩しの件：原案通り承認可決された。

第7号議題 選考委員長任期満了に伴う改選の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和4年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

## 8. その他

- 令和4年6月20日 内閣府に令和3年度事業報告書等の定期提出書類をWeb提出した。
- 令和4年7月4日 内閣府に理事および監事、評議員の変更届をWeb提出
- 令和5年3月29日 内閣府に令和5年度事業計画および予算の定期提出書類をWeb提出した。

## IV. 添付資料

- [資料1] 令和4年度各種助成金受領者名簿
- [資料2] 令和5年度各種助成募集要項
- [資料3] 令和5年度各種助成金受領者名簿

以上

令和 4 年度 研究助成金受領者  
(第 3 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

## テーマ 1 : AI の医学的・臨床的応用

研究者	所属機関・職名	研究題目
猪俣 武範 イマタ タケリ	順天堂大学 医学部眼科学講座・准教授	マルチオミクス機械学習によるドライアイの局所炎症環境下における免疫細胞の時空間制御の解明
魏 菲菲 ウェイ フェイウェイ	神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 臨床研究所がん免疫療法研究開発学部・特任研究員	人工知能を用いたがん免疫治療応答指数に関わる末梢血可溶性因子・免疫細胞の同定および層別化予測ツールの開発

## テーマ 2 : がんの分子標的 : 基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
大石 篤郎 オオイ アツロウ	杏林大学 医学部肉眼解剖学教室・講師	Orphan Receptor を分子標的とした新規がん治療の探索
籠谷 勇紀 カゴヤ ユウキ	愛知県がんセンター 研究所 腫瘍免疫応答研究分野・分野長	T 細胞の細胞傷害作用への耐性メカニズムの理解に基づくがん免疫細胞療法の賦活化
片山 量平 カタヤマ リョウヘイ	がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部・部長	がん分子標的療法残存腫瘍におけるがん免疫微小環境の解析
鈴木 啓道 スズキ ヒロミチ	国立がん研究センター 研究所 脳腫瘍連携研究分野・分野長	U1 snRNA 変異による RNA 異常プロセスの解明と髄芽腫の病態の解明
中村 康平 ナカムラ コウヘイ	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット・特任助教	オルガノイド培養・全エクソン解析を用いた類内膜癌、明細胞癌の内膜症起源説に基づく発癌機序の解明
船戸 洋佑 フナト ヨウスケ	大阪大学微生物病研究所 細胞制御分野・助教	がんの分子標的 PRL によるリソソーム膜動態の制御
山本 恵介 ヤマモト ケイスケ	東京大学医学部附属病院 消化器内科・助教	サイクリン依存性キナーゼによる転写制御機構を標的とした新規膀胱癌治療法の開発
渡部 昌 ワタナベ マサ	北海道大学大学院医学研究院 医化学教室・講師	がんドライバーユビキチンリガーゼの基質探索による創薬基盤の確立



令和4年度 育成助成金受領者  
(第3回理事会において議決)

(1件240万円 3件, 720万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
小林 記緒 コハヤシ ノリオ	東北大学大学院医学系 研究科 情報遺伝学分 野・助教	ヒト羊膜細胞系譜の運命決定機構と抗炎症 機能因子の解明  University of Michigan
杉本 敦史 スギモト アツシ	大阪市立大学大学院 消 化器外科・大学院生	Role of Cancer-Associated Fibroblasts in Cholangiocarcinoma  Columbia University
樽谷 愛理 タルタニ アイリ	東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野・ 協力研究員	クライオ電子線トモグラフィー法を用いた 異常型 $\alpha$ シヌクレイン蓄積機構の解明  University Medical Center Gottingen

令和4年度 国際交流助成金受領者  
(第3回理事会において議決)

(1件 30～50万円 3件, 130万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
今本 尚子 イマモト ナホ  理化学研究所 開拓 研究本部 今本細胞 核機能研究室	Ulrike Kutay  ETH Zurich Institute for biochemistry	第74回日本細胞生物学会大会  2022/06/28～2022/06/30  タワーホール船堀 東京都江戸川区船堀 4-1-1	50万円
角田 茂 カタシゲル  東京大学大学院農学 生命科学研究科 実 験動物学研究室	Glen N. Barber  Sylvester Cancer Center University of Miami Miller School of Medicine	JSICR/MMCB 2022 Joint Symposium  2022/06/08～2022/06/12  東京都文京区弥生 1-1-1	30万円
銅谷 賢治 ドウヤ ケンジ  沖縄科学技術大学院 大学 神経計算ユニ ット	Erin M. Schuman  マックスプランク脳研 究所	NEURO2022  2022/06/30～2022/07/03  沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1	50万円

令和  
5  
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

# 研究助成 募集要項

1. 研究助成の対象となる  
テーマ： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。  
但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。
- ①「エクソソーム（細胞外小胞）：基礎と臨床」
  - ②「メカノバイオロジー：分子から個体」
2. 助成金額： 300万円／1件  
採択件数： 10件以内
3. 応募資格： 国内の研究機関等に所属する令和4年9月1日現在満45才未満の独立した研究者  
(大型研究費を受けておられる方はご遠慮ください)
4. 応募方法： (1) Web システムよりご応募ください。  
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。  
(2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）  
あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得てください。  
推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し  
役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に  
限り推薦できます。  
(3) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。
5. 応募受付期間： 令和4年9月1日（木）より9月30日（金）
6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務： 収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。
8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させて  
いただきます。  
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および  
助成金の交付について： 採否は決定後直ち（令和5年3月頃）に申請者へお知らせいたします。  
助成金は令和5年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先： 公益財団法人 細胞科学研究財団  
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号  
TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996  
URL：https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan  
(または右記 QR コード)



※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

令和  
5  
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

# 育成助成 募集要項

## 1. 育成助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。

イ. 当財団理事または評議員あるいは所属機関長・所属部門長(部長、専攻長等ただし教授を除く)の推薦を受けた者(各推薦者は1名に限り推薦できます)

ロ. 令和4年9月1日現在 満40才以下の研究者

ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(令和5年4月以降令和6年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限り)

ニ. 原則として1年以上の育成期間を予定している者

ホ. 他機関からの助成金との重複は可能です。

ヘ. 留学先の変更は認められません。

## 2. 給付金額：

1件 120万円/年

## 採択件数：

10件

## 3. 給付期間：

1年間

## 4. 応募方法：

(1) Webシステムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

## 5. 応募受付期間：

令和4年9月1日(木)より10月31日(月)

## 6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

## 7. 報告義務：

収支報告および留学報告書を提出していただきます。

## 8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

## 9. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和5年3月頃)に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和5年4月以降に贈呈いたします。

## 10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>

(または右記QRコード)



※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

令和  
5  
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

# 国際交流助成 募集要項

## 1. 国際交流助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。

イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者

(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)

ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者

ハ. 年度内(令和5年4月以降令和6年3月末までの間)に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者  
なお、Web開催での会議、シンポジウムも対象といたします。

ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。

## 2. 助成金額：

20～50万円／1件 総額200万円

(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短、開催方法等を勘案して決定されます。希望助成額の大まかな内訳をご記入ください)

## 3. 応募方法：

(1) Webシステムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

## 4. 応募受付期間：

令和4年9月1日(木)より10月31日(月)

## 5. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

## 6. 報告義務：

収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。

## 7. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

## 8. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和5年3月頃)に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和5年4月以降に贈呈いたします。

## 9. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

URL：<https://www.shionogi.com/jp/ja/zaidan>

(または右記QRコード)



※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

令和 5 年度 研究助成金受領者  
(第 5 回理事会において議決)

(1 件 300 万円 10 件, 計 3,000 万円)

## テーマ 1 : エクソソーム(細胞外小胞) : 基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
佐藤 裕公 サトウ ユウコウ	群馬大学生体調節研究所・准教授	哺乳類の受精におけるエクソソームの必要性に関する解析
富樫 庸介 トガシ ヨウスケ	岡山大学学術研究院 医歯薬学域 腫瘍微小環境学・教授	細胞外小胞を介した腫瘍微小環境における代謝異常の解明
服部 一輝 ハトリ カズキ	東京大学 先端科学技術研究センター・特任助教	細胞外微粒子を介した細菌—哺乳類細胞間相互作用の一括解析
丸山 健太 マルヤマ ケンタ	大学共同利用機関法人自然科学研究機構 生理学研究所 生体機能調節研究領域・特任准教授	腸管内 RNA による大腸癌進展調節機構の解明と応用
南 聡 ミナミ サトシ	大阪大学大学院 医学系研究科 生化学・分子生物学講座 遺伝学教室・特任助教	エクソソームを用いたオートファジーモニタリング方法の開発

## テーマ 2 : メカノバイオロジー : 分子から個体

研究者	所属機関・職名	研究題目
遠藤 瑞己 エントウ ミズキ	東京大学大学院 理学系研究科 化学専攻分析化学研究室・助教	生きた個体内で物理的シグナル伝達を光操作する技術基盤の構築
岡本 麻友美 オカモト マユミ	名古屋大学大学院 医学系研究科 細胞生物学・助教	大脳発生過程におけるメカノセンサーチャンネルを介した細胞増殖制御機構の解明
進藤 麻子 シンドウ アサコ	熊本大学 発生医学研究所・独立准教授	アドレナリンシグナルによる組織のメカノマネジメントと形態恒常性
高野 晴子 タカノ ハルコ	日本医科大学 先端医学研究所 病態解析学部門・講師	肺胞形成における血管内皮細胞を基軸とするメカニカルシグナルの解明
福井 一 フカイ ハジメ	国立循環器病研究センター研究所 細胞生物学部・室長	双方向性血行力学による心臓管腔組織形成メカニズムの解明

令和5年度 育成助成金受領者  
(第5回理事会において議決)

(1件120万円 10件, 1,200万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
板倉 拓海 イクラ タキ	東京大学 農学生命科学研究科・研究員	神経細胞集団における細胞内シグナル伝達機構の操作・観察技術を用いた恐怖の減衰機序の解明 California Institute of Technology
井上 晋一 イノウエ シンイチ	University of Pennsylvania Perelman School of Medicine Institute for Diabetes Obesity and Metabolism ・Postdoctoral Fellow	熱産生を維持亢進させる寒冷環境記憶メカニズムの解明 University of Pennsylvania Perelman School of Medicine
岩崎 順博 イワサキ ヨリヒロ	マサチューセッツ総合病院 内分泌部門・リサーチフェロー	GNAS インプリント制御破綻の分子基盤解明と治療法探索 マサチューセッツ総合病院・ハーバード大学医学部
鎌田 修平 カマダ シュウヘイ	千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学・特任助教	腎がんの浸潤・転移機構と免疫微小環境の解析 The University of Texas Southwestern Medical Center
鈴木 淳 スズキ アツシ	名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科・病院助教	慢性移植肺機能不全の病態解明及び単球由来肺胞マクロファージを標的とした新規治療開発 Northwestern University Feinberg School of Medicine
谷川 聖 タニガワ サン	北海道大学 創成研究機構 化学反応創成研究拠点・特任助教	神経変性疾患研究のためのヒト脳由来細胞培養液の開発-ヒト脳の神経病理学的知見と細胞培養液の知見との比較 トロント大学タンツ神経変性疾患研究センター
原 怜史 ハラ レイシ	金沢大学 医薬保健研究域 医学系 医学教育研究センター・助教	galectin-8 を標的としたループス腎炎の糸球体硬化進展機序の解明と治療開発 University of Chicago

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
平賀 慎一郎 ヒラガ シンイチロウ	大阪大学大学院 医学系研究科 創薬神経科学共同研究講座・特任助教	中枢神経系疾患におけるミクログリアの時空間的多様性 The Institute of Neuropathology University of Freiburg
向井 康治朗 ムカイ コウジロウ	東北大学大学院 生命科学研究所 細胞小器官疾患学分野・助教	The impact of en masse virus infections on host innate immune defenses アメリカ国立衛生研究所
矢野 誠一 ヤノ セイチ	九州大学大学院 医学系学府医学専攻 病態制御内科学分野・大学院生	肥満における脂肪組織特異的マクロファージのエピジェネティックな制御機構の解明 University of California San Diego



令和5年度 国際交流助成金受領者  
(第5回理事会において議決)

(1件50万円 2件, 100万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関・職名	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
小林 和人 コバヤシ カズト 福島県立医科大学医学部 附属生体情報伝達研究所 生体機能研究部門・教授	SUSAN L. ACKERMAN University of California San Diego / HHMI	第46回日本神経科学大会 2023/08/01 ~ 2023/08/04 宮城県仙台市
吉森 保 ヨシモリ タモツ 大阪大学大学院 医学系 研究科遺伝学・教授	Harald Stenmark University of Oslo	第75回日本細胞生物学会大会 2023/06/28 ~ 2023/06/30 奈良県

前記のとおりご報告いたします。

令和5年6月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩 野 元 三